

朝鮮・韓国の科学・技術発展史 深田 晃二

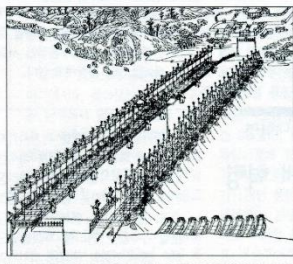
光復 50 年を記念して 1996 年に発刊された「歴史新聞」(歴史新聞編纂委員会編集、全 6 巻)は、韓国五千年の歴史について新聞形式を借用して記述し、読者がタイムマシンで過去の歴史のど真ん中に連れて行かれるように書かれた本である。1~2巻は持っていないので、3~6巻から、科学技術に関する項目を何点か取り上げる。まずは「橋」関連 4 題に、続いて科学技術記事についてみる。



1. 漢江へ舟橋仮設 (1790 年)

한강에 주교 가설

많은 사람들 한꺼번에 강 건널 수 있게 강 전체를 배로 연결 '정관 이륙'



1790년 국왕이 사도세자의 무덤을 양주에서 수원으로 이장한 후, 이를 방문하는 데 사용하기 위해 배를 이어 만든 다리(주교)를 가설하도록 지시했다.

처음에는 한강 양쪽에 선창을 만들어 배 3~4척을 묶어 이를 타고 강을 건너기도 했지만 많은 일행이 한꺼번에 움직이는 데는 큰 불편이 있었다. 그래서 강 전체를 배로 연결해 건널 수 있도록 주교를 가설한 것이다.

강 중앙에 큰 배를, 강 양면에는 작은 배를 띄워 서로를 단단히 묶고 그 위에 판목을 깔아 다리를 놓는다. 강 중앙에 큰 배를 놓는 것은 다리가 강 한가운데에서 무게를 가장 많이 받기 때문이다. 주교의 규모는 대체로 길이가 1천8백척(尺) 내외이고 높이는 다리의 중앙부분이 12척(尺) 가량, 길의 너비는 대체로 24척(尺)이다.

주교는 보통 춘행(春幸)과 추행(秋幸)에 따라 음력 1, 2월과 8월에 가설된다. 대개는 춘행이 많이 주교 가설에 동원되는 주교선들은 한강에서 겨울을 지내고 주교의 역을 1, 2월에 마친 다음에 각 조운에 종사하게 된다. 주교는 이미 고려 때부터 만들어져왔다.

1790 年 国王^{*1}が思悼世子(サドセジャ)^{*2}の墓を楊州から水原に移葬した後、これを訪問するのに利用するために、舟に乗せて作くった橋(舟橋)を仮設するよう指示した。

最初は、漢江の両側に船倉をこしらえて、そこで舟 3~4 隻を結んでこれに乗って河を渡ろうとしたが、多くの人が一度に渡るには非常に不便だった。そこで、河全体に舟を連結して渡れるように舟橋を仮設したのである。

河の中央には大きな舟を、河の両岸には小さい舟を浮かべ、それぞれをしっかりと結んで、その上に板木を敷いて橋を設ける。河の中央に大きな舟を置くのは、中央が力を一番受ける所だからだ。舟橋の規模は、大体長さが 1800 尺^{*3}内外で、高さは橋の中央部で 12 尺程度、道幅は役 24 尺である。

舟橋は普通、春幸^{*4}と秋幸^{*4}に従って、陰暦 1, 2 月と 8 月に仮設される。大概是春幸が多く、舟橋仮設に動員される橋職人達は漢江で冬を過ごし、舟

橋の役務が終わると、それぞれ漕運業へ従事した。舟橋は既に高麗時代から作られてきている。

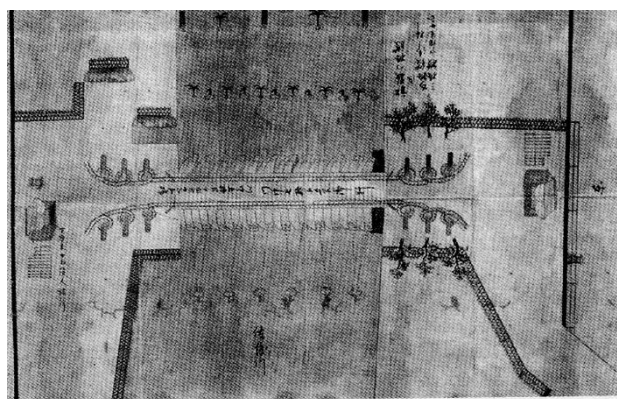
(注記)

- *1. 国王：1790 年は第 22 代王・正祖(在位 24 年)の 14 年。正祖は思悼世子の息子。
- *2. 思悼世子(サドセジャ)：第 21 代王英祖の息子・王に対する謀反の疑惑で、1762 年、米びつ内で餓死。
- *3. 尺：長さの単位、日本と同じ 30.3cm とすれば、1800 尺=545m、12 尺=3.6m、24 尺=7.3m。
- *4. 春幸、秋幸：辞書にはないが、日本の春と秋の彼岸の墓参行事と同等ではないかと思われる。

☆

朝鮮通信使が船橋を通行した事が広く知られている。辛基秀著「朝鮮通信使の旅日記(PHP 新書)」には次のように書かれている。

「揖斐川等の大きな川を、船橋によって渡河する通信使一行は、美濃と尾張の近郷近在の民衆にとって、最大の見物であった。普段は渡し船を利用してこれらの川は、朝鮮通信使と江戸の将軍など特別な通行の際には、臨時に船をつないで橋とするのである。揖斐川では、橋の中央から西は大垣藩、東は笠松郡代が分担した。例えば木曾川の川幅約 900 メートルには、およそ 280 隻の船がつながったと記録されている。揖斐、長良、境、木曾の 4 つの河川の合計では、500 隻にものぼったという。幕府は一般の通行を禁じ、通信使一行は、これらの大きな川に掛けられた船橋を渡って、次なる目的地名古屋へと向かう。」



寛延元年美濃路佐渡川船橋絵図(岐阜県歴史資料館蔵)

Google では次のように書いている。

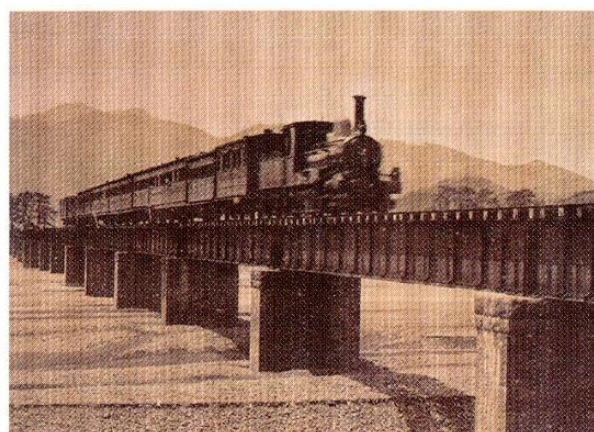
「起(おこし)の舟橋」と「朝鮮通信使」について

江戸時代、現在の木曾三川にあたる河川の渡河は渡し船が一般的だったが、征夷大將軍と朝鮮通信使が渡る際のみ、美濃国と尾張国の境にある佐渡川(揖斐川)・墨俣川(長良川)・小熊川(境川)・起川(木曾川)の 4 河川が舟橋で架橋された。木曾川に架かる「起(おこし)の舟橋」は日本最長の舟橋であり、長さは 475 間 3 尺(約 860 メートル)、幅は 9 尺(約 3 メートル)だった。大船 44 艘と小船

組み立てられ、試運転を済ませ 線路や漢江鉄橋の建築資
材運搬に使用された。



画像：朝鮮鐵道史第一卷 554 頁（朝鮮總督府鐵道局）



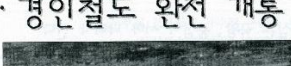
(参考) 当時の日本の鉄道事情

한강철교 준공 ... 경인철도 완전 개통

서울 - 인천간 한 시간에 주파

1900년 11월 12일 서울 사대문에서 내리거는 한강철교가 준공되면서 서울과 인천이 처음으로 1시간에 서울에서 인천까지 갈 수 있게 되었다. 이로써 서울에서 인천을 1시간에 갈 수 있게 된 것은 1900년 11월 12일경으로, 이보다 4년 전인 1896년 경인철도에서 화기차량 운행이 시작된 것임을 알 수 있다.

경인선에서 한강철교를 건널 때는 한강의 물결이, 한강을 건너면 서울로 돌아오는 열차가 기다리고 있다. 한강철교는 준공된 지 100년이 지난 1999년 11월 12일 경인철도 개통 100주년을 기념하여 개통 100주년 기념 열차로 운행되고 있다. 한강철교는 준공된 지 100년이 지난 1999년 11월 12일 경인철도 개통 100주년을 기념하여 개통 100주년 기념 열차로 운행되고 있다. 한강철교는 준공된 지 100년이 지난 1999년 11월 12일 경인철도 개통 100주년을 기념하여 개통 100주년 기념 열차로 운행되고 있다.



京仁線での最大の難工事は、漢江鉄橋工事で、洪水や酷寒にもかかわらず、延 270 日の工事期間が終わり、去る 7 月 5 日に竣工した。総延長 630m の漢江鉄橋は今まで我が国で最も長い橋梁であると同時に最初の鉄製橋梁である。

鉄路の上を走る機関車は米国ブルックス社で製作された Mogul 型タンク機関車*2である。

*2. Mogul 型タンク機関車：モーガル型タンク機関車は
京城～仁川間の京仁線に使用する為 京仁鉄道合資会
社が米国より4両を輸入。明治32年7月 仁川工場で

일제 '대륙침략 길' 압록강 철교 준공

1911년 10월 평안북도 신의주와



참고: 무엇을 위한 것이냐

대륙 진출 교두보 마련
만주 일제 경제권 편입

압록강 철교의 개통은 일제의 만주 진출에 획기적인 역할을 할 것으로 보인다. 일찍부터 만주를 통한 대륙 진출을 꿈꿔왔던 일본은 이번

압록강 철교의 준공으로 경부·

유라시아대륙으로 진출할 수 있는
다리를 얻은 셈이다. 이와 함께
제는 만주지역에 대해 경제적 힘

를 본격화할 것으로 예측된다. 일
는 앞으로 일본 오사카(大阪), 고
(神戸)의 공업지대에서 만들어
면직물과 장화를 일본 산악지방

船舶の出入りのために、橋の真ん中は、橋を開けたり閉めたりできる開閉式に作られていて、東洋第

一の国境名物になると見られている。

この橋の開通で、満州の安東(現・丹東)と奉天を結ぶ安奉線*¹と京義線*²の連結が可能となり、韓満国境が陸路連結されたことになる。鴨緑江鉄橋の竣工と同時に日帝は京城と長春間を走る直通列車を運行し始めた。満州が日帝の中庭となることは時間の問題だとの観測がある。

—— 鉄橋は何のための物か、大陸進出橋頭堡準備
満州を日帝の経済圏に編入 ——

鴨緑江鉄橋の開通は日帝の満州進出に画期的な役割を果たすとみられる。早くから満州を通した大陸進出を夢見た日本はこの度の鴨緑江鉄橋の竣工で、京釜線*3・京義線を通じてそのままユーラシア大陸に進出することができる橋を得たと言う訳だ。それと同時に日帝は満州全域に対する経済的浸透を本格化する事が予測される。日帝は今後、大阪、神戸の工業地帯で作った綿織物や雑貨を下関まで山陽鉄道に載せてきて、次に釜山に上陸させ、これを京釜・京義線と安奉線を通して満州全域に安い値段で迅速に運び込む計画であると言われている。

また、満州地域で安い値段で買った大豆を本国へたやすく輸送できるので、この鉄橋は大きな利益を生むと見られている。

(注記)

- *1. 安奉線：満州の安東(現・丹東)と奉天を結ぶ鉄道線
- *2. 京義線：京城（ソウル）と新義州を結ぶ鉄道線
- *3. 京釜線：釜山と京城（ソウル）を結ぶ鉄道線

4. 乙丑 (을축、ウルチュク) 年大洪水

全国を襲い史上最大の被害

(1925年7月8日)

飢饉まで重なり「二重苦」

[illegible]

1925年7、8月の4回の茶禮*¹に亘り全国に大雨が降り、史上最大の被害が発生した。

7月10日と11日には中部地方一体に300mmに達する雨が降り、漢江と錦江が氾濫した。

これで終わらず 16 日から 18 日まで最高 650mm の雨が降り、臨津江と漢江が大きく氾濫した。これにより漢江の水位が急激に上昇、島(弓梁)では 13.59m、漢江人道橋では 11.66m、龍山 12.74m で歴史上最高水位を記録した。8 月はじめには関西地方^{*2}に大雨が降り、丹東江、鴨緑江が氾濫した。続いて 8 月末には南部地方を台風が急襲し、洛東江、栄

山江、蟾津江（ソムジンガン）が氾濫した。洪水は韓半島のどの地も例外無きがごとく茶禮時期に全国に甚大な被害を与えた。今回の乙丑年の大洪水で死亡・行方不明者 647 名、家屋破損と流失 2 万 3 千戸、農耕地浸水 10 万反歩の被害を被った。被害額は 1 億 3 千万ウォンと推測されているが、これは総督府の年間予算の 50% にあたり、とてつもない金額である。

一方、この度の洪水で各地の道路と橋梁、鉄道が途絶し、穀物と野菜の輸送が中断され、物価が急騰している。そのため、ソウルなど大都市の罹災者は洪水と飢饉という二重苦を経験している。罹災者の収容所では集団疫病まで発生し、生き地獄を彷彿とさせる。現在、総督府と民間団体が出て救護活動を広げているが、被害規模がとてつもなく大きいので事態収拾が長期化する見通しだ。

(注記)

- *1. 茶禮：毎月 1 日・15 日などに祖先の位牌を安置した
廟や祠堂で行う簡単な祭祀
- *2. 関西地方：摩天嶺以西の地で平安南北道、慈江道を
指す

5. 科学技術発展の原動力は愛民重農の精神

最近各種科学機器の相次ぐ開発

“正確な自然計測で科学営農を実現”

[illegible]

現在活発に製作されている科学機器は、焦点を目標である農業生産力増大に合わせられている。豊凶の悲喜こもごもがなぜ起きるのか。それは雨と風とそして節気である。雨と風と節気が正確であれば農業生産力が増大することは当然な道理である。

雨がたくさん降っても少なくとも農事はだめになる。だから、中国とは異なった気象条件を持つ我々なりの基準を持ち、気象観測をする必要性がおおきいのである。そこで測雨器が作られた。また、雨を左右するのは風である。南西から海を越えて風は暖かく雨を含んでいるが、北東から山を越えて北風は乾燥して冷たい。

そこで風気台（風度と気象を測る）を設置して風

向と風速を測定していた。降雨と風向に対する資料を蓄積しても、種まきから収穫に至るまで各農繁期の時を掴み損ねると農事を減ぼす。従ってこれまで中国の観測地点を基にして作った暦を使ったが、今般我が土地を観測中心とした七政山内外扁

(칠정산내외편 : 第4代世宗の時に頒布された暦)を作って正確な節気が判るようになった。

従って今は各家庭でも時間的に精密な対応ができる。各種時計が作られていることはこの様な理由による。

最近開発された重要科学機器一覧表

NO.	名 称	用途	製作年代	備 考
1	자격루	自擊漏	水時計	1433 世宗15 自動時報装置付属
2	간의대	簡儀台	専門観測台	1434 世宗16
3	양부일구	仰釜日晷	日時計	1437 世宗19 公衆用日時計
4	현주일구	懸珠日晷	日時計	1437 世宗19 携帯用
5	천평이구	天平日晷	日時計	1437 世宗19 卵型、携帯用
6	정남일구	定南日晷	日時計	1437 世宗19 精密度高い、羅針盤不必要
7	옥루	玉漏	水時計	1438 世宗20 天体時計、水車動力利用
8	측의기	測雨器	降雨量測定	1442 世宗24

以前までは主に印刷と火薬分野が技術発展を主導してきたが、最近の爆発的な科学機器開発で我が国の科学の地平を大いに広げた。それにより担当する国の技術者達の人数も多くなり、1つの身分階層としての席を占めるがごとく見る人達もいる。

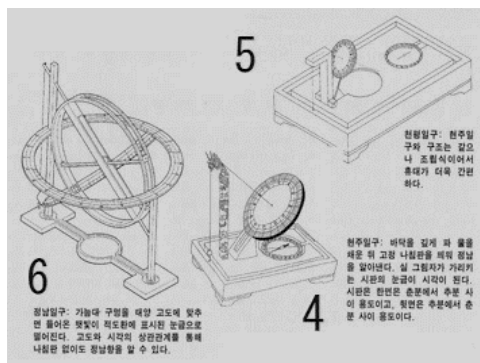
6. 全国降雨量を正確に分析、農政の参考に計画 (1441年8月18日)

전국 강수량 정확히 분석, 농정 참고 계획

1



8



1441년(세종 23년) 8월 18일

새로운 강수량 측정기구인 측우기가 개발돼 경회루 부근 마전교(馬前橋) 서쪽 얇은 물가에 설치됐다. 정부는 측우기로 전국의 강수량을 정확히 분석, 농정에 참고자료로 활용할 계획이다. 측우기는 길이 2尺(41cm), 지름 8寸(16cm)의 철제 원통과 돌로 만든 측우대로 구성되어 있는데 통속에 고인 빗물을 주척(周尺)으로 측량한다.

세종은 각 지방도 단위 감영에는 철제측우기, 군단위 관청에는 도자기로 만든 측우기를 설치하고 강우량을 분(分:약 2mm) 단위까지 측량해 보고할 것과 비가 온 시간, 미우(微雨)에서 폭우(暴雨)에 이르는 8단계로 세분된 비의 종류 등 관련항목을 자세히 기록하라고 지시했다.

관련기사 4면



新しい降雨量測定機器である測雨器^{*1}が開発され政府は測雨器で全国の降雨量を正確に分析し農政の参考資料として活用する計画である。測雨器は深さ2尺(41cm)^{*2}、直径8寸(16cm)の鉄製円筒と石製測雨台で構成されていて、筒の中にたまった雨水を測って測定する。世宗は各地方の道単位監營には鉄製測雨器を、郡単位の役所には陶磁器製測雨器を設置し、分(約2mm)単位まで測量することと、

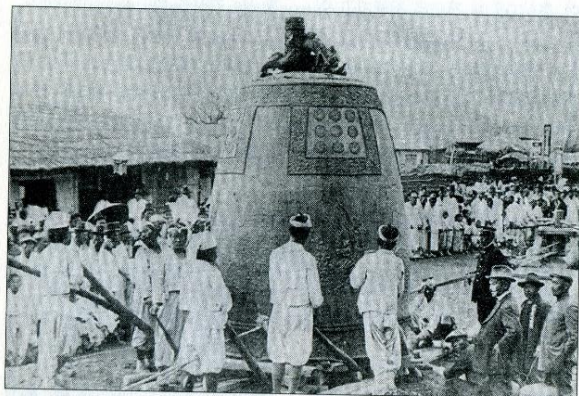
雨が降った時間の記録や、雨の強度を微雨から暴雨までの8段階に細分した。雨量等の関連項目を詳細に記録するように指示した。

(注記)

*1. 前の項目のNo8の機器の詳細

*2. 船橋の項で1尺=30cmとした。時代により変わるのか。

7. 新羅の音エミレ鐘 慶州にて



신비의 소리 에밀레종 경주로

에밀레종이 1915년 새로 지은 경주박물관으로 옮겨졌는데, 에밀레종을 만지면 병이 낫고 복이 온다는 소문이 있어 이 종을 만져보려는 사람들로 인산인해를 이루었다. 에밀레종은 원래 봉덕사종으로 만들어졌다가 봉덕사가 폐허가 되자 조선시대 때 경주 남문 밖 봉황대 밑으로 옮겨 와 성문을 열고 닫을 때와 정오를 알릴 때 울렸다. 청아하고도 은은하기로 유명한 이 종소리를 이제는 듣기 어려울 듯.

エミレ鐘が、鳳凰台から、新しく 1915 年に作られ慶州博物館へ移された。エミレ鐘に手を触れると病気が治り幸せが来るという噂があり、鐘に触ろうと大勢の人出(人山人海)となった。エミレ鐘は元来ポンドク寺(본덕사、奉徳寺)の鐘として作られたが、ポンドク寺が廃寺になり、朝鮮時代に慶州南門の外、ボンファン台(봉황대、鳳凰台)の元に移された。正門の開閉時、それと正午を知らせるときにつかれた。清らかで殷々として有名なこの鐘の音は今では聞くことが難しいと言うことだ。

☆

慶州博物館のエミレ鐘について「慶州文化財散歩(秦弘燮・著)」では次のように述べている。

「この鐘は奉徳寺鐘またはエミレ鐘ともよばれる、韓国はもちろん東洋最大の鐘である。口径 2.27m、高さ 3.33m の巨鐘で、一点の瑕も無く彫刻も雄大優雅な大作である。音響も亮々として余韻が 2 分以上続く韓国鐘の代表である。(中略) この神鐘は景德王が親王のために、銅 12 万斤で鐘を鑄造しようとしたが、意を果たさず崩御されたので、その子恵恭王が継続して、その六年(770)に完成した。はじめこの鐘は奉徳寺に懸けられたが、奉徳寺が廃寺になったので霊廟寺に移された。その後霊廟寺が又廃寺になったのでいま鳳凰台とよんでいる古墳の前、即ち慶州邑城南門外に移して、朝夕打ち鳴らしていたが、慶州博物館設置とともに移したものである。



聖徳大王神鐘

又この鐘を鑄造するとき、何度も失敗するので最後に溶鋳炉の中に子供を入れた所、立派にできあがったという哀話が伝えられている。エミレ鐘のエミレとはその子が母を慕う泣声で鐘を打つごとにその涙声が聞こえると言われている。」

☆

「handbook 慶州」のタイトルは「子供の恨のこもったエミレ鐘・聖徳大王神鐘」となっていて、溶鋳炉に入れた子供の恨がこもっていることを示している。続けて本文には次のように書いてある

「聖徳大王神鐘は博物館に入るとすぐの右側に鎮座している。現在我が国に残っている最も大きな鐘で高さ 3.33m、重量 18,908kg に達する我が国最高傑作品の 1 つである。鐘の頂上には我が国の鐘にだけ見ることができる音管と龍の模様の輪であるヨンニュ(용뉴)があり、鐘本体には互いに向き合って眺める飛天像 4 双、2 個の蓮の花模様などが繊細な腕前で彫刻されている。」

8. 独立門が建立された 1897年11月20日

독립문 세워졌다



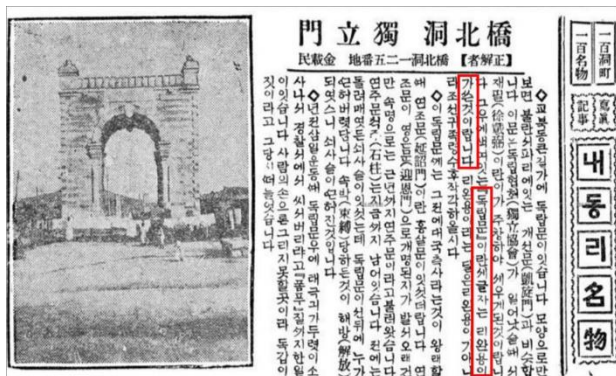
1897년 11월 20일 독립문이 완공됐다. 독립문은 45×30cm 크기의 화강암 1850개를 쌓아 올린 것으로, 문 모양은 아치식으로 했다. 내부 왼쪽에는 안에서 옥상으로 통하는 돌층계가 있고, 꼭대기 부분은 난간형태로 꾸몄다. 전체적인 모양이 프랑스 파리의 개선문과 비슷하다고 한다. 각계 각층의 정성과 헌금이 모여져 독립문이 세워진만큼 나라의 독립이 반석 위에 올라설지 두고 볼 일이다.

独立門が完工した。独立門は 45×30cm の花崗岩 1850 個を積み上げた物で、門の形はアーチ式とした。内部の左側には中から屋上に通じる石段があり、頂上部分は欄干形式でまとめられている。全体的な姿はパリの凱旋門に似ていると言われる。各界各層の真心とお金を集め、独立門が建ったように、国の独立が盤石の上に設置されるのを見たいものである。

☆

独立門についてウィキペディアなどのネットの内容を要約すると次のようである。

「高さ 14.28 メートル、幅 11.48 メートルの門は、迎恩門が取り壊されその代わりに建立された。1896 年にソ・ジェピル（徐載弼）が協会を組織、独立門の設立を提案し、高宗皇帝の同意と数多くに愛国的な人々の支持を得て、1896 年 11 月 21 日に定礎、1 年後の 1897 年 11 月 20 日に完成した。門のスタイルは、フランスのパリの凱旋門をモデルにしている。京城府史には、ロシアのサバティンによって設計され、韓国の沈宜錫によって建設されたと記録されている。門は花崗岩を積み上げて建てられ、中央にある門の内側の左側に頂上につながる石の階段、そして石の手すりに囲まれた頂上がある。門の上の表裏の銘板にはハングルと漢字でそれぞれ「独立門」の碑文が刻まれており、碑文の左右に太極拳が刻まれている。扁額が李完用の筆になるとの指摘は、下記写真の東アジア日報 1924 年 7 月 15 日の記事による。赤マークのところは「独立門の扁額は李完用が書いたものである」と書かれている。



50 余名の匠人が梵鐘鑄造に動員された。来年に大理石塔が完成すれば、圓覚寺はその姿を整える事になり、圓覚寺完工の功労者褒賞も実施する予定である。

1464 年 5 月ヒョロム大君がフェオム寺にて圓覚法会をしたところ、如来が出て、数百の舍利分身が出てくる奇跡が起きたという。既に、廃寺となる学樂（악학）都監の建物として使っていたフンボム寺（훈법사）を圓覚寺として作れという国王の決心はそのままここで始まったと言うことだ。ところで圓覚寺建築過程で金まつわる各種事件のなかには笑えない話が多い。社倉の頭領が僧侶を詐称し、圓覚寺建立責任者の判子を偽造し、干し肉を托鉢し、財産をかき集める事件が代表的なものである。多くの百姓達はこの詐欺師にだまされたのだ。“干し肉を多く差し出せば賤民から良民になり、流配地から帰郷させてくれる”という甘い誘惑にだまされない人が、どこにしようか。

원각사, 1년여 공사 끝에 완성

1465년(세조 11년) 4월 원각사 건립이 1년여의 대공사 끝에 이루어졌다. 악학도감 건물로 쓰이던 예전의 훈법사를 다시 세우면서 이들을 원각사로 지정하여 진행된 이번 공사는 부역군사 2천1백여 명이 동원된 큰 공사였다.

원각사 건립을 위해 부근 인근 2백여 채의 철거도 실시됐는데 집터 보상으로 정포 4천4백여 필, 쌀 1백

섬, 보리 1백 섬이 국고에서 지출됐다. 또 범종 주조를 위해 국가보유 구리 2만 4천1백64근 8냥 3전을 포함, 전국에서 부족한 다량의 구리를 사들였으며 50여 명의 장인이 범종 주조에 동원됐다. 내년에 백옥으로 만든 불상과 10층짜리 대리석탑이 완성되면 원각사는 제 모습을 갖추게 될 것으로 보이며 원각사 완공 공로자 포상도 실시될 예정이다.

1464년 5월 효령대군이 회암사에서 원각법회(圓覺法會)를 열었는데 여려(如來)가 나타나고 수백의 사리분신이 나오는 기적이 일어났다고 한다. 이미 폐사가 돼 악학도감(樂學都監) 건물로 쓰이던 훈법사를 원각사로 만들려야겠다는 국왕의 결심은 바로 여기에서 비롯됐다는 것. 그런데 원각사 건축과 장에서 빚어진 각종 사건들 중에는 웃지 못할 일이 많다. 사창(仕倉)의 우두머리가 원각사 중을 사칭, 원각사 건립 책임자의 도장을 위조하여 포를 시주하려며 재물을 끌어모은 사건이 대표적이다. 많은 백성들이 이 사건에게 넘어갔다. “포를 많이 내면 천민은 양인으로 만들어주고 유배자는 귀향시켜 준다”는 달콤한 유혹에 넘어가지 않을 사람이 누가 있었겠는가?



☆

タプコル公園の塔の写真にだまされて、技術的な記事だとばかり思って記事を読み出したが、本文を追っていく内に???となってしまう。結局、時間的な制約もありそのまま判らない多くの単語を辞書を引き引き最後まで行っただが、やはり建設にまつわる社会現象についてであった。チゲクン（詐欺師）にやられたような気持ちである。

(終)

8. 圓覚寺 1年の工事が終わり完成 1465 年 4 月

圓覚寺建立が一年余の大工事を終え完成した。学樂（악학）都監の建物として使われる予定のフンボム寺（훈법사）を再び建てて、名前を圓覚寺と指定して進めた今回の工事は、賦役軍人二千百名が動員された大きな工事だった。

圓覚寺建立の為に附近の人家 2 百余軒を撤去し実施されたが敷地補償として丁布四千百匹、米百俵、麦百俵が国庫から支出された。また、梵鐘鑄造のため国家保有の銅二万四千百 64 斤（8 両 3 千を含む）を支出した。全国から不足した多量の銅を買い入れ、



第二次世界大戦後の韓国

